



12月20日 1983・No.52

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 552-1855
編集 新保義人
中村憲吉

号外

一 日 本 部 開 催 !



組合員の声を直接本部に——という松島理事長の肝入りで始められた“一日本部”が、去る十一月十日京橋支部でも持たれました。全支部員では多すぎて、ということから当日は児玉支部長以下執行部全員に、地区長、幹事など、有志の面々三十余名が定刻六時に勤福会館に打揃いました。

どういう質問を出そうか、どんな回答が返ってくるやら、それよりも全然質問が出なかつたら——。そうするうち、どうゆうわけか、組合事務局の方々が最後に、少々遅刻して入場、というところで一日本部は開催されました。

力の入った金山副支部長の司会で先づ、松島理事長と磯野専務理事の“施政方針演説”、これに続いていよいよ質問の第一陣は手廻しよく支部の瀬戸監査が手を挙げられました。

時間の制約もあり、本当に言いたいことがえたのか、聞きたいことが聴けたのか——しかし、こういう催しが、組合員が自分達の組合として、自分達の力になれる組合として、印刷組合を育していくための一助にはなったと考えられないでしようか。

(編集部)

本部出席者

松島理事長
松本副理事長
山岡副理事長
磯野専務理事

田畠常務理事
石曾根常務理事
高山総務局長
鈴木事務局長

組合加入のメリットは?

Q 濱戸(株昇寿堂)

現在加入者増強運動を行っている。当京橋支部も八名の新規加入を割りあてられているが、加入すると、どんなメリットがあるのか。

私は、全印健に加入できるというメリットがあると考えていたが、それは違うようだ。

形式的条件が整つていれば、組合員でなくても良いし、逆に、組合員であつても形式が整つていなければ、全印健には加入できないといふことだ。そうだが、加入のメリットとして、このことはあげられないのか。

▲磯野専務理事

現在、全印健加入の条件としては従業員が五人以上、事業主が積極的であること、長期療養者がいないこと、給料が平均23万円以上であること、最後に組合員であること、となつております。松島理

松島理事長挨拶

私が就任いたしましてからも、又過去におかれましても、業界をいかにして良くしていくかということについて、執行部の方で研究して下さっておりますし、又実際にそのための活動も行われております。その中で、今までと違つて電子技術の急激な変化がおききました。そこでとりあえず、現在から一九九〇年までの間はどういうにやついくかという予測をしようと思つて、副理事長達が担当して中期ビジョンを作つております。将来は二十一世紀に向けての準備をする。では、現状はどうするのか。例えば先般、朝日新聞西部本社の年賀状の件などは業界が一つになつて、阻止した。各方面に働きかけ、朝日新聞は今回をもつてその制度は行わない旨決定したとのことです。振りかかつた火の粉は一致団結して今後も払つていきました。又、現在総点検運動を推進中です。今後ともみなさんの協力によって、執行部がより良くなるよう、又二十一世紀の充実のためによろしくお願いします。

▲松島理事長

年度は上げないと

組合費は上げない?

Q 新保(株大成美術印刷)

事長はなんとかして、この枠を広げられないかと検討中です。来週全印健と話し合うことになっているが、なんとかスムーズにしたい。改めてこの件についてはみなさんに連絡をします。

生産性の「拡大」に 「コニースーパーテン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機



小森印刷機械株式会社

本社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 ☎東京(624)7161番(大代表)

すいせんのことば 小森印刷機械さんとは30数年のお付きをして居りますが故障が少なく使い易いので助かります。先日リスロン40シリーズを見学しましたが大変な努力と研究をされているので力強く感じました。次期変更の予定機もそれに的を絞って居ります。

湊地区 加賀美印刷株 加賀美 博

いう形でやってきたが、来年のことばは、私一存で決めるわけにはいかないので、この席で約束することはできない。中期ビジョンのために、情報はできるだけ多く集めて、みんなに提供していくつもりだが、その情報を集めるために金がかかる。なるべく上げないように努力していくが二月頃にならないと返事ができない。気持ちとしては組合事業に全員参加があれば上げずに済む。今後もたくさんの人達の応援をいただきたい。

脱退者にも気くばりを

Q 大竹（㈱大竹印刷所）

脱退組合員に対しても現状は大変冷たい。多少はあるが、やめる側にも言い分はある。

出資金が、現規約では、半年以上からなければ返ってこない。組合費も三ヶ月毎に前金でついているがそれは戻ってこない。前にも申し上げたが、いまだにその制度が変わらない。

磯野専務理事挨拶

他、いろいろ細かいことはたくさんあります。が、今日は、みなさんと、いろいろのことについてお話しをしたいと思います。

Q 大竹

法律でそうなつていてのならやむを得ないが、それならば、加入の時に、脱退のときはこうなる、ということを明示すべきだと思う。入るときに法律云々などいうことは言わないで、やめるときだけ法律云々は片手落ちである。

次に、支部書記の所属問題について、現在、支部内の役員の会社を二年毎にタライ回しとなつておらず、健保加入やその他退職面や厚生面で身分が不安定となっている。これについて本部所属にするとか対策はないのか。

理事会からもお話しのありました総点検運動については、すでに一部皆さんのおともどもご案内が届いたと思いますが、これを一つのヒントとしていただきた。又、その一環として原価管理委員会を組織し、原価計算ガイドも作成しましたので、それも合せてご参考にしていただければと思います。又、印刷機械の耐用年数の縮少についても、実現にこぎつけたいと思っています。通産省としても八年が妥当であるという結論にいたったようです。

次に中期ビジョンを作成中ですが、この中で業界の将来、進むべき方向を整理中です。又、第二次構造改善の問題についても、もう一年間延長してはどうかということもまとめながら進む方向であります。

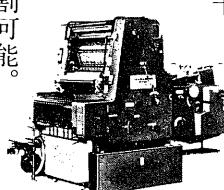
▲磯野専務理事

出資金というの

は組合員の資格が失われるとお返しすることになっており。毎年12月まで脱退された方の効力は年度末をもって完了すると法律にある。又、年度途中に脱退される場合は、年度内の付加金を全て支払いなさいとなつてているが、現実の問題としてそうはできない。

ハイデル情報

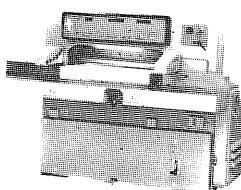
ハイデル単色Mオフセット機
菊半裁判 四八〇×六五〇%



最高速度八千
毎時。ナン
バリング、
ミシン目
入り、二分割可能。

ボーラー情報

ボーラー九二EMC断裁機。
最大断裁幅九二cm
積紙高二cm



印刷機械貿易株式会社

香里本社 大阪府寝屋川市豊里町一四
東京事業部 電話〇三二一〇四四一
東京都品川区南大井二二一四
電話〇三二七六三一四一四一

すいせんのことば 機械の材質がよいせいか故障がないので予定通り作業で助かります。それにシリンドーが大きいので刷上りのよいのにも満足しています。約束した時間には必ず来てくれるのも、サービスが行き届いているからでしょう。

入舟地区 永井印刷工業株 小倉利明

▲磯野専務理事

現在書記のいる支部は約半分の十支部ほどであり、すぐどうするとはいえないが、今後の検討課題であると思う。ただ、本部としては、支部の財政問題については直接ふれることにしているので、そのへんとにらみ合せて考えるべきと思っている。

余談ではあるが、過去に税金のトラブルがあったとき、本部費で賄つたこともある。

零細企業への対応も

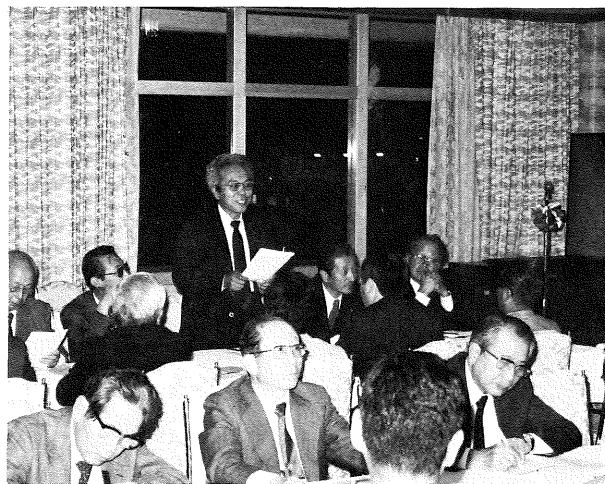
Q 中山（㈲中山印刷所）

理事長から将来の業界の動向等について、大変貴重なビジョンが述べられたが、零細企業にとってはあまり関係ない。その前に、現在の小企業対策として、何かやつて欲しい。例えば、最近社長が急逝したために、会社が解散になつた所があるが、組合で何とかできなかつただろうか。

今後もこのようなことが起きた場合、本部の助力があれば、心強いと思うが。

▲磯野専務理事

最近小企業委員会で三井銀行とタイアップして始めた五百円迄の無担保、無保証融資制度を始めた。これは支部長の推薦で、借り入れができるので、このような制度も大いに利用して、なんとか頑張ってほしい。



業界をより良くするために、

本部窓口の時間帯に一考を！

Q 小倉（㈱相互美術印刷）

みんな昼間は忙しいので、何か聞きたいとか相談をしたいと思って、本部に行つても、五時をすぎると本部の職員さんはみんな帰つてしまふ。できれば、早ばん、遅ばんというのを作つてはどうか。

▲磯野専務理事

(文責
編集部)

年賀状募集のお知らせ

編集部では、来年一月号の誌上で、今年

と同じく、各社のオリジナルの年賀状をカラー刷りで掲載することにいたしました。

あなたの会社の年賀状や、京橋支部の組合員からの年賀状等、ともかくたくさん年の年賀状を紹介したいと思っております。

お手数でも、各地区長さんの所へ、一月五日までにお届け下さい。支部書記の岩本さんが六日に各地区長さんからいただいてくるようにしたいと思います。

印刷が支える 組合給食
事業主と従業員の栄養源
健康を守る

給食センター

中央厚生事業協同組合(551)4909

理事長 清水 栄之助

◎ご利用をお待ちして居ます

すいせんのことば 栄養のバランスもよく、おいしさの中に「お袋の味」を加味した中央厚生の昼食はいつも満点の味です。

湊地区 聖文社印刷(株) 田島 弘